岩盤ボーリング柱状図

調査名	二級河川　瀬野川水系　瀬野川支川１７　外　砂防激甚災害対策特別緊急事業に伴う業務委託
事業・工事名	
調査目的及び調査対象	砂防　砂防

ボーリング名	№7(畑賀川)	調査位置	広島県広島市安芸区中野三丁目外	北緯	34° 23’ 25.8545″
発注機関	広島県西部建設事務所	調査期間	令和3年 7月26日～ 令和3年 7月27日	東経	132° 32’ 07.5568″
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者 / ボーリング責任者
孔口標高	TP 104.87m	角度	180 上 90 下 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南
総削孔長	7.00m	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機：東邦地下工機D0型
					エンジン：ヤンマーディゼルNFD-9K　ポンプ：東邦地下工機BG-3C

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	工学的地質区分名(模様)	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	硬軟	コア形状	割れ目の状態	岩級区分	コア採取率 (%) / 最大コア長 cm / RQD [%]	記事
1	103.27	1.60		シルト質砂	暗茶							(100) (100)	・河成堆積物 ・細粒分を少量～多く混入する ・砂は角ばった細～中砂主体 ・溜池内の調査であり、水位は池の水面
2	101.57	3.30		礫質砂	灰茶～暗淡茶							(100)	・大きさ2～50mmの亜角礫を少量混入する ・砂は角ばった細～粗砂が主体
3	100.87	4.00		風化花崗岩	茶～赤褐	w5	h1	E	VI	d	D	0[0](100)	・マサ状コアとなる ・指圧で砂質土状に容易に砕ける ・割れ目の判別不可
4	99.82	5.05			赤褐～灰茶	w4		V				0[0](100)	・極硬質なマサ状～片状コアとなる ・GL-4.0～5.05mは強い指圧で砂質土～角礫状に砕ける ・割れ目の判別不可
5	98.92	5.95				w3		C	IV	c	CL	9[0](100)	・GL-5.05～5.95mはハンマーで容易に砕ける ・割れ目は水平～50°のものが1～10cm間隔で入っている
6	98.27	6.60			灰青			B		b		8[0](100)	・GL-5.95～6.6m,GL-6.9～7.0mはひん岩が貫入しており、短柱状コアとなる ・ハンマーでたたいても容易に割れない
7	97.97	6.90			灰茶	w4		D	V	c	D		
	97.87	7.00			灰青								

孔内水位／測定月日

標準貫入試験

深度－N値図

N値	深度	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
1	1.15	1/300		
	1.45			
42	2.15	42/300		
	2.45			
50	3.15	50/300	300	
	3.45			
50以上	4.00	50/60	60	
	4.06			
50以上	5.00	貫入不能		

原位置試験　室内試験

削孔状況

削孔月日	削孔速度 (cm/h)	孔径・孔壁保護	コアチューブ・ビット	給圧 (MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	削孔水・送水量 (L/min)	排水量 (L/min)
7/26	2400	114/ケーシング	S/MC	1	40	0	W3 0	0
	1200			1	40			
	1200	89/ケーシング	打込み	0	0			
	480		SW/MC	2	80	0	W3 12	12
	180		HW/DB	1	160	0	W3 4	4
	180	66						
	150			2	160			
7/27	180			1	160			